

㊦ (小計 58点)

問一 (14点) 病気のために、一生十歳のままの外見と成長していく内面との差になやみ続けなければならないということ。

問二 (12点) ローズの芸を見て心から感動し、一瞬ではあるが、とうてい抜け出すことができないと思っていた自分の苦しみを忘れることができたから。

問三 (18点) 普段の舞台に立つ時のトコは、足の怪我で綱渡り師になる夢をあきらめた悔しさが無意識ににじみ出て、面白味に欠ける芸になってしまいが、クリニック라운の時は、相手も傷ついた人達であるため、劣等感を感じることなく演じられるから。

問四 (14点) 老人ホームの慰問を通して、人を笑わせることのすばらしさを知った。また、ローズの言葉によって、身体の悩みという哀しみを抱える自分だからこそ、人を笑わせることが出来ると励まされ、うれしくなり、その喜びを分かち合いたいと思っている。

㊧ (小計 32点)

問一 (10点) 今の日本の美的感覚は、工場で仕上げたツルツとしたものばかりが評価されるような「工場思想」に染まっているため、雑草が茂るような自然のままのたたずまいの浄瑠璃寺は、その感覚に合わないから。

問二 (12点) アメリカでは大きな文化財を修理する際に、モニユメントの形に沿った仮設足場をデザインしたり、工事幕に工夫を凝らしたりすることで、工事期間中もその場所の景観と歴史的意義をできるだけ損なわれないようにするという。

問三 (10点) 現在の日本は、「工業モード」を重視し、自然を大切にしていないので、現状を見直すべきだということ。

㊨ (小計 10点)

- (1) 著作
- (2) 適正
- (3) 武者
- (4) 操縦
- (5) 一望千里

【出典】

㊦ 小川糸『サーカスの夜に』

㊧ アレックス・カー『ニッポン景観論』